

当院HCUに入院されたご本人様、ご家族の方へ
-当院HCU入室患者の退院時歩行自立の可否と関連する要因の検討-後ろ向き観察研究-への
協力依頼-

研究機関名およびその長の氏名：岡山協立病院 病院長 角南 和治
研究責任者 : リハビリテーション部 畠 勇輝

1) 研究の背景および目的

近年、集中治療分野では医療技術の向上により重症患者の救命率が飛躍的に向上していますが、それに伴い救命後の長期的な予後の悪化や、社会復帰困難などの新たな課題が浮上してきています。本邦においても平成26年度診療報酬改定項目に早期からのリハビリテーションの実施や退院・転院支援の充実等も重要であるとされており、入院早期からのリハビリテーションの浸透が期待されています。これまでの先行研究では、人工呼吸器を装着した患者を対象に歩行自立可否を検討したものが大半を占めています。その一方で、ICU患者データベースでは人工呼吸器を装着していない患者が増加しており、人工呼吸器非装着患者も含めた検討はなされていません。歩行自立は転帰先の決定や在院日数にも関わる重要なADL能力とされており、この歩行自立の可否を適切に予測できることで退院支援の遅延が懸念されます。そこで本研究は、人工呼吸器を装着していない患者かつ、リハビリテーションを実施した患者において、退院時の歩行自立可否に関連する要因を明らかにすることを目的としています。

2) 研究対象者

2022年2月～2025年3月までに当院HCUに入院した18歳以上の患者様、人工呼吸器を使用していない患者様、入院前に歩行が自立していた患者様を対象とします。

3) 研究方法

院内電子カルテにて対象となる患者様の情報を収集し、歩行自立の可否を判定する要因を明らかにします。氏名や生年月日など個人が特定できる情報は削除し、プライバシーの保護に細心の注意を払います。

4) 使用した情報

- ①基本的属性(年齢・性別)
- ②主病名や併存疾患などの疾患情報
- ③高度治療室在棟日数や入院期間などの臨床経過
- ④理学療法評価情報(筋力など)
- ⑤医療的介入(ステロイドの使用)

5) 使用した資料の保存

データ抽出に使用した患者IDや診療情報は、インターネットに接続されていないコンピューター内に電子情報として保存されます。

6) 研究資金と利益相反

この研究に使用される研究資金は一切ありません。また利害関係が想定される企業等で研究責任者や家族が活動して収入を得ているようなことは一切ありません。

7) 研究計画書および情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、御家族等（父母などの親権者、配偶者、成人の子または兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容の不明点についても、担当責任者に遠慮なくお尋ねください。

この研究は、あなたの個人情報を特定するデータがわからない形で、学会や論文として発表されます。

この研究にご質問があれば下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（御家族の方等も拒否を申し出ることができます）に御了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが発表された場合は、個人が特定できない形式の場合は情報を削除修正できない場合がありますので、御了承ください。こういった場合に診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

岡山協立病院リハビリテーション部

氏名：畠 勇輝

電話：086-272-2121（代表平日 9時～17時）